

大会アピール

「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」を理念とした「水源の里」の活動は、自然から生み出される豊かで清らかな水資源、人々の営む生活、育んできた産業や文化を継承するとともに都市との共生を進めてきました。

本日、「第14回全国水源の里シンポジウム」に参加した私たちは、「水源の里」を持続可能なものとするため、新たに革新的な技術も取り入れながら、他に誇る多様な価値を戦略的・自律的に地域づくりに生かすとともに、地域力を再生するための人財を育て、呼び込み、仲間づくりなどの協働を行い、共生関係にある都市との関係を強化していくことが重要であるとの認識を深めることができました。

私たちは、田園回帰の潮流をより本格化させ、我が国の基盤である「水源の里」を欠かすことのできない財産として次世代につなぎ、我が国の新たな社会を創造するため、一体となって次に取り組むことをここに宣言します。

- 一 「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」の理念に基づく流域連携・相互補完の必要性を全国にアピールするとともに、流域間における価値の循環・共有により、「水源の里」が有する価値を高めます。
- 一 「水源の里」を持続可能なものとするため、住民と市町村の強力なパートナーシップにより地域の将来像及びその実現策をともに考え、国や都道府県の力強い支援を得ながら、地域力の再生に向けた取組を行います。
- 一 「水源の里」の課題は都市の課題でもあることから、地域の人財を育て、デジタルの力などを活用し、付加価値を生み出しながら課題解決を図ることで、未来の子どもたちに自信と誇りを持って「水源の里」を引き継いでいきます。

以上を確認し、大会アピールとします。

令和4年10月27日

「第14回全国水源の里シンポジウム」参加者一同